

強い農業づくり交付金における地域提案メニューの活用事例

整備事業

都道府県名	北海道	市町村名	中札内村	地区名	中札内
事業実施主体名(管理主体名)	中札内村農業協同組合(中札内村農業協同組合)				
施設等導入年度	平成17年度				
対象作目(作物名)	野菜(枝豆)				
導入施設等名	農業用機械(枝豆収穫機械)				

第1 実施地区の概要

当地区は、十勝地方中央部に位置し、小麦・馬鈴しょ・てん菜・豆類などを基幹作物とする大規模畑作専業地帯である。

近年、担い手の所得向上を図るため、枝豆やインゲン等の導入を進めているが、枝豆等の収穫作業については機械化が進んでおらず、適期収穫ができないなど品質の低下等を招いており、また、労力の面から作付け面積の拡大が困難な状況にある。

第2 施設導入の背景及び目的等

当地区は、基幹作物を主体とした合理的な輪作体系により、安定した農業経営の実現に取り組んできたが、近年、小麦・てん菜の作付けが過剰傾向となり、担い手の農業所得も低迷しつつあったことから、枝豆やインゲン等の導入をすすめ、十分な農業所得を得られるよう対策を講じてきた。

しかし、枝豆等の収穫作業は、小型機械と人力により行われており、適期収穫や労力の面から作付け面積の拡大が困難な状況にあった。

そのため、能力の高い大型の枝豆収穫機械を導入し、収穫作業における労働力の軽減を図ることで枝豆の作付け面積の拡大を図り、農業所得の向上による認定農業者の育成・確保を目的として事業を実施した。

第3 導入した施設等の概要

枝豆収穫機械(フランスBCM社製 BH7100)

全長 9,750mm、全幅 3,500mm、全高 4,000mm

作業幅 2.6m、処理能力 約 0.6ha/hr

第4 その他(地区の特色ある取組等)

枝豆収穫機械の導入と併せ、農畜産物処理加工施設を整備し、冷凍枝豆の生産に取り組んでおり、現在は、「国産の冷凍枝豆」としてユーザーから高い評価を受けている。

